

地域を支える高齢者福祉施設・社会福祉法人と都民を結ぶ

アクティブ福祉

第45
2021.6

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 機関誌



p2-3 特集
常任委員会の委員挨拶

p4-5 うわさの施設
 東京の介護ってすばらしい!
 グランプリ受賞施設へのインタビュー

p6 新時代旋風
 新時代委員会での取り組み

p7 Join us! イベントのご案内
 アクティブ福祉in東京'21について

p8 ブロック活動だより
 八王子ブロックの活動

p13 東京ケアリーダーズ活動紹介
 活動報告、予告

- 9... ● 専門委員会リレートーク
第12回:災害対策委員会
- 10... ● 養護分科会トピックス
- 11... ● 軽費分科会トピックス
- 12... ● センター分科会トピックス
- 14... ● 職員研修会トピックス
- 15... ● 私の心に残るエピソード
- 15... ● 編集後記

読者モニター
15名
集まりました!!
(R3.5.31現在)



Facebook
更新中!



高齢協
ウェブサイト



高齢協
会長
@koureikyo



YouTube



東社協
東京都高齢者
福祉施設
協議会



常任委員会の委員挨拶



会長 特養分科会長

4月から高齢協の会長を務めています。今年度は、なによりもコロナ禍における、施設経営に必要な取り組みに全力を尽くします。

また、コロナ対策に加えて、都内には地域によってさまざまな課題があります。会員施設が抱えている課題の解消・緩和に努めます。よろしくお願いいたします。

社会福祉法人 三交会 特別養護老人ホーム 青葉台さくら苑

理事長 施設長 **田中 雅英**



副会長（センター分科会） センター分科会長

引き続き副会長・センター分科会長を務めることとなりました。コロナ禍や介護報酬改定をはじめとして、在宅介護を取り巻く環境も大きく様変わりし、課題も多岐にわたっています。

難問山積といった現状だからこそ、前向きな気持ちをお忘れず、焦らず弛まず取り組みを続けていこうと思っています。皆様の積極的なご参加・ご協力をお願いします。

社会福祉法人秋川あすなろ会 あすなろみんなの家

統括施設長 **今 裕司**



副会長（広報担当） 情報広報室長

この度、3期目となる副会長に就任いたしました。コロナ禍をはじめ、福祉・介護を取り巻く状況も激変し、制度改正を巡る様々な課題も浮き彫りとなっています。

今後、会員の方々の主体的な関わりの機会も提供しつつ、高齢協という組織の存在意義、制度改革、政治や行政との関係など、様々な課題に対し真摯に向き合っていくと思います。

社会福祉法人 一誠会 第二偕楽園ホーム

統括施設長 **水野 敬生**



支援センター分会長

支援センター分会長の鈴木です。コロナ禍で初めて実感した、これまで普通にあった人と人とのつながりを維持し続ける事の困難さ。我々にとって、みなが安心して暮らすことのできる場所を創る、究極の目標かもしれません。そんな想いを胸に、会員の皆様と具体的な活動を進めていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

東村山市北部地域包括支援センター

センター長 **鈴木 博之**



デイサービス分会長

昨年、デイサービス分会長を引き継ぎ、2期目の就任となります。科学的介護の推進に向け、介護保険の新たなデータベース [LIFE] の本格運用が始まり、介護業界は新たなフェーズに入っています。

今後は介護に“科学的な根拠”という要素を加え、利用者の自立支援・重度化防止に向けた取り組みを会員の皆様と行っていきたいと思っています。

社会福祉法人 西新井だいわ会 高齢者在宅サービスセンター西新井

理事長 **細井 和男**



経営検討委員長

今期も引き続きまして経営検討委員長に選任いただきました。

継続的な経営実態調査を行い、コロナ禍における東京都全域における特別養護老人ホームの経営状況を把握することによって、報酬の妥当性や東京都独自の課題を明確にし、行政への提言今後の経営に役立つ情報を提供していくことを目的としております。皆さんからの、率直なご意見を反映してまいります。ご協力をお願いします。

社会福祉法人 恵比寿会 フェローホームズ

統括施設長 **森山 善弘**



施設管理検討委員長

施設管理検討委員会では、2つのワーキングチーム (WT) で活動します。

- ・ワーク・エンバロメント（作業環境）に関わるWT 施設を支える職員のモチベーションを阻害する要因を検証し、魅力ある職場環境を構築するための具体策を検討します。

- ・新任施設管理者の育成に関わるWT 「新任施設長へのテキスト」の改訂と研修を企画します。

社会福祉法人 泉陽会 新町光陽苑

施設長 **高橋 三行**



職員研修統括委員長

この度、職員研修委員会統括委員長に就任いたしました。コロナ禍において、従来の研修スタイルが崩れ、新たな形態が求められる時代になりました。オンラインの講義が一般化する中、その良し悪しを別のかたちで、どう埋めるかが課題であります。より良い研修を提供して会員施設職員さん達の資質向上に努めていきます。

社会福祉法人 仁生社 特別養護老人ホーム 中川園

施設長 **櫻川 勝憲**



アクティブ福祉 in 東京実行委員長 新時代の高齢者福祉デザイン検討委員長

今年度から参加させて頂くことになりました。身の引き締まる思いです。恐縮しすぎることなく、意見等求められた際には積極的に発言を心掛け、少しでもお役に立てるように、誠心誠意努力してまいります。アイデアを実行に移せるように目標を持ち取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 積善会 長洲園

施設長 **川口 睦弘**



ブロック協議会長

令和3年度も引き続きブロック協議会長としてお世話になります。

昨年度は新型コロナウイルスによる未曾有の感染症拡大があったこともありブロック会としても活動があまり出来ない状況にありましたが、大切な情報の共有やブロック内の相互応援などにつながる協議会を目指したいと思います。

社会福祉法人 みその福祉会 ケアタウン成増

施設長 **坂本 寛**



区市町村施設長会代表者会長

この度、再び区市町村施設長会代表者会長に就任致しました。このところ増々区市町村の役割が大きくなっています。福祉施策も区市町村単位で計画、実施されています。そのため私たちは各区市町村との連携を一段と深めていく必要があります。情報交換、区市町村への要望書の提出、自治体内の事業所連携等に皆様とともに努めて参ります。

社会福祉法人 芳洋会 ひの理想郷の園

統括施設長 **齋藤 郁子**



**副会長（養護分科会）
養護分科会長**

この度、4期目となる副会長に就任いたしました。この一年コロナ禍による生活、社会の激変の中で会員の皆様のご苦勞は計り知れない事と存じます。

介護保険制度から漏れ落ちる高齢者のセーフティネットとしての大きな役割を持つ養護老人ホーム。その分科会を代表し、高齢者施設において

唯一残る措置施設としての存在意義や社会への周知を図り会員の皆様とともに様々な問題に取り組んでいきたいと思ひます。

社会福祉法人 日の基社会事業団 養護老人ホーム 日の基青老閣

理事長 施設長 **酒井 雄祐**



**副会長（人材担当）
人材対策委員長**

今年度から副会長として田中新会長を全力でお支えしたいと存じます。合わせて従来から取り組んでいます人材対策委員会も引き続き委員長として担当させていただきます。また新たに担当副会長として経営検討委員会の森山委員長のお役に立てるよう尽力してまいります。今後とも会員の皆様のご理解ご

支援を賜りますようお願い申し上げます。

中央区特別養護老人ホームマイホーム新川

施設長 **羽生 隆司**



総務委員長

この度、初めて総務委員長に就任いたしました。昨年まで支援センター分会長をやらせていただいていた。今後、高齢者施設や在宅サービスにおける課題を明確化し、東京らしい高齢協ならでの活動計画を考えていきたいと思っております。会員の方々の少しでもお役に立てるよう、頑張っていきたいと思ひますのでどうぞよろしくお願い致します。

社会福祉法人 縁友会 特別養護老人ホーム小川ホーム 小平市地域包括支援センター小川ホーム

施設長兼センター長 **小林 美穂**



利用者支援検討委員長

利用者支援検討委員会の委員長を勤めさせていただくこととなりました。ご利用者の視点と介護現場の声を合わせ、様々な課題を検討して行く本委員会の活動が、コロナ禍の中でも、ご利用者の尊厳を守り、ご利用者の生活を支える努力を継続して下さっている現場の職員の皆様の一助となるべく、活動をさせていただきたいと思ひます。

社会福祉法人 草佑会 やすらぎミラージュ

施設長 **平野 修司**



地域包括ケア推進委員長

この度、特別委員会の地域包括ケア推進委員会委員長に就任いたしました。コロナ禍でどうやって地域に寄り添えるか、できなくなっていることをどのように実施しているか、地域包括支援センターとの連携や、施設長・相談員の意識をどうやって地域に向けていかなど、様々な課題に委員の皆様と検討し進めていきたいと思ひます。

社会福祉法人 三育ライフ 特別養護老人ホーム シャローム東久留米

統括施設長 **我謝 悟**



顧問

本会々長の8年間、みなさまのご協力に感謝申し上げます。今期から本会顧問として引き続き常任委員会に参画させていただきます。

昨年来からのCOVID-19の感染拡大の中だからこそ、力を結集していかなくてはなりません。東京の福祉・介護をめぐる課題にみなさまと共に、微力ですが取り組んでまいります。よろしくお願ひいたします。

社会福祉法人 白十字会 白十字ホーム

ホーム長 **西岡 修**



**副会長（軽費分科会）
軽費分科会長
新型コロナウイルス対策委員長**

現在、東京の80歳以上高齢者人口は推計で100万人を超えています。日本で一番高齢者が多い地域です。これまでもそしてこれからも高齢協とその会員施設事業所の役割は非常に大きいと思ひます。私自身も高齢協の分科会や委員会活動を通じて、会員施設事業所と高齢協が一体となって様々な課題に取り組めるよう努めてまいります。

社会福祉法人 楽友会 軽費老人ホーム 偕楽荘

施設長 **鶴岡 哲也**



副会長（制度施策担当）

このたび、東社協 高齢協 副会長に就任致しました野村 博之です。

このような大役を仰せつかりまして、嬉しい反面、責任の重大さに身の引き締まる思ひです。要望書をはじめ諸問題等を分析し提言等に結び付け、また、必要とする情報をタイムリーに提供できるよう、皆様、高齢協の発展に邁進してゆく決意です、初心を忘れず頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 南山会 喜多見ホーム

施設長 **野村 博之**



制度検討委員長

この度、制度検討委員会委員長に就任いたしました。介護保険制度が改正され、2025年、2040年を見据えた新たなスタートが切られました。

制度検討委員会として、高齢者福祉・介護に関する関係制度の現状並びにその課題改善への一助となれるよう、都内各地域で運営される委員の皆様と共に取り組んでまいります。

社会福祉法人 博仁会 特別養護老人ホーム 和楽ホーム

理事長 **宮澤 良浩**



災害対策検討委員長

これまで災害対策検討委員会に参加させていただいておりましたが、本年度から委員長を拝命いたしました。

昨今の自然災害は従来の想定を大きく超えることも多く、そのような中で福祉施設が事業を継続することは重大な課題です。本委員会ではその課題への取り組みに合わせ災害時に施設が地域の救いとなれるよう、啓蒙してゆきたいと考えています。

社会福祉法人 亀鶴会 特別養護老人ホーム 神明園

園長 **中村 正人**



デジタル推進委員長

介護現場においても生産性向上の取り組みによって業務を見直し、限られた資源（人材等）で質の高いケアを提供することと同時に、働きやすく働きがいのある職場を実現することが求められています。会員施設におけるデジタル機器（次世代介護機器を含むICT機器）の活用をサポートし、介護現場改革の一助となれるよう努めていきたいと思ひます。

社会福祉法人 友愛十字 砧ホーム（特別養護老人ホーム）

施設長 **鈴木 健太**



顧問

令和3年度第1回総会での承認を経て、顧問を拝命いたしました。

コロナ禍で先行きが不透明な状況ではありますが、東京都高齢者福祉施設協議会の目的である会員が相互にサービスの質を高め、広く都民に信頼される存在となり、さらに東京における利用者主体の高齢者福祉事業の進歩発展を図ることに尽力していければと思ひます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 聖風会

理事長 **近藤 常博**

東京ケアリーダーズが行く!

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員(約1200施設・事業所)のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験をもつ施設を紹介するコーナー。毎回「うわさ」の施設を東京ケアリーダーズが訪問し、お話を伺います。



その11

2020年「東京の介護ってすばらしい! グランプリ」 動画部門 最優秀賞
社会福祉法人 芳洋会 ひのでホーム

動画のコンセプトと対象を明確化し、福祉の魅力の伝え方をデザイン

高齢者福祉施設での日常のさまざまな場面にスポットライトを当てながら、介護の魅力を発信する「東京の介護ってすばらしい! グランプリ」(以下東すば)。

2020年度に新設された動画部門では、伝わりやすい構成や編集技術などで審査員から高評価を得た特別養護老人ホームひのでホームが最優秀賞を獲得しました。

今回の取材では、総務部総務課採用担当の関澤孝文さんにお話を伺いました。



ひのでホーム 関澤 孝文さん

—今回の動画作品のコンセプトをお聞かせください。

まず、東すばの「介護の仕事を通じて介護の魅力を幅広く伝えていく」という目的を確認し、それをコンセプトにしました。次に、動画を見ていただく対象を考え、介護にあまり馴染みのない一般の方としました。それらを軸として、ひのでホームが伝えられる強みと魅力を考えました。



—どのような工夫が受賞につながったと感じますか。

準備・企画の段階を最も重視し、時間をかけたことがよかったと感じています。目的を確認し、誰に向けて伝えるかを明確化し、構成を考えることに注力しました。また、審査員の方による動画編集の研修動画もしっかり見て、評価のポイントを押さえたことも受賞につながったのだと思います。

—構成や編集技術の評価する声が多くありました。構成での工夫についてお聞かせください。

発信したいテーマは数多くありましたが、今回は介護の仕事により良いイメージを持てるようなエピソードを基準として選定し、閲覧者に伝わりやすい食事、福祉機器、SNS(=職員の仲の良さ)の三つに絞って紹介しました。また、一般的な介護の風景から少し離れたところをアピールし、雰囲気明るくすることを意識して構成しています。

—動画を見て、人気のYouTubeコンテンツのようだと感じました。意識したことはありますか?

お昼の情報番組のような雰囲気を意識して構成しました。また、外国人が活躍していることも伝えるためにMCに起用しましたが、結果的につかみが良く、明るい雰囲気になったかなと思います。

—クロマキー合成などの評価の高かった編集技術はどのように学ばれましたか？

作業をしながら随時YouTubeのガイド動画などを活用し独学で学びました。当施設のYouTubeチャンネル「サンライズTV」では受賞動画の裏話も紹介していますので、よろしければご覧ください。チャンネル登録して応援いただけるととても嬉しいです。



動画の裏話はこちらから
ご覧いただけます。

—サンライズTVについてお聞かせください。

「フクシのイメージをアップデートしよう」をスローガンとして、2020年秋に、当法人では広報活動の一部として動画配信を戦略的に行うという指針を固め、YouTubeチャンネルを活用した動画配信を本格的にスタートしました。職員インタビューや介護技術など、5月31日現在79件の動画をアップロードしています。



サンライズTVオリジナルステッカー

—動画更新頻度や作成・編集の担当はどのようにしていますか？

世間の認知を得るため、最終目標として2年間でチャンネル登録1000人達成を掲げました。その実現のため、週2回のアップロードで動画数100件を短期到達目標として設定し実行しています。

企画・編集は私が中心となり、編集では現場業務と兼務する2名の担当者と一緒に作業しています。

—動画の反響についてお聞かせください。

職員の雰囲気ができるような動画が好評です。採用面接で施設選びの参考にしたという話題が上がることもあり、学生の採用につながったケースもありました。

親しみを感じられるよう施設の魅力×一般的な要素で掛け合わせるようにしています。例えば施設の食事をフードファイターが紹介するものなどが多く閲覧されたりしました。

—最後に東すばグランプリの感想一言をお願いします。

採用活動でお世話になっている大学の先生の話では、昨今の学生はさほど福祉に悪いイメージを持たないそうです。我々は業界のアピールの際、給料が低いなどと予防線を張って話しがちですが、それはよくないと感じています。

社会福祉法人は広報やPR活動を苦手とする傾向がありますが、これからは一般の方に向けて、自分たちの仕事の魅力の伝え方をデザインすることが必要です。

このグランプリがその知識や技術を共有しトレーニングする場となり、新たなコミュニケーションデザインのきっかけとなればと思います。



ケアリーダーズ
新町光陽苑 照喜名 竜彦さん

ケアリーダーズで福祉の魅力を伝えるうえで、動画の見せ方や構成の考え方のお話がとても参考になります。学生は福祉にマイナスイメージがあると思いつつ活動していた心当たりもありますが、そういった意識は持たず自信をもって伝えていけばよいと感じました。

本日はありがとうございました。

社会福祉法人 芳洋会 ひのでホーム

所在地:〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井3076 TEL:042-597-2021 FAX:042-597-1973

■取材 東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 照喜名 竜彦(新町光陽苑)

■記録・編集 東京新聞 木下 聡文

新時代旋風

社会福祉法人 積善会

長洲園 施設長 川口 睦弘

令和に架け発足した 新時代の高齢者デザイン検討委員会の継承

今年度から新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会の委員長を拝命する運びとなりました。こちらの委員会は、50歳以下の施設長または現場のマネジメント層で編成されており、参加委員の方は、各施設、各事業所で先頭に立ち引っ張っていく方々や、高齢協との関わりを長く持たれている方が参加されていますので、委員会の活動や目的、役割が共有できた際には、沢山のアイデアが溢れ、熱意もあふれ出る委員会になると、今からワクワクしております。

委員会の目的としては、引き続き高齢協の組織強化に繋がる活動となる委員会を目指します。主な活動については、アクティブ福祉 in 東京実行委員会、人材育成研修委員会、人材対策委員会、災害対策検討委員会への委員派出と、委員会の中での「学びの場・情報共有」としての独自企画（研修）の開催となります。各委員で役割分担を行い、発足した当初の目的と活動を継続して行う事となります。コロナ禍で延期となっている異業種交流も新しい形で今後実現したいと考えております。

委員会への意気込み

人材確保、人材育成、生産性の向上、ICTやDXの促進、災害・感染症対策等、取り組むべき課題は多くありますが、委員会の中で、限られた時間を有効活用し、溢れ出すアイデアを集結し実行に移せるように、皆さんと一緒に活動して参りたいと思います。今後も、新時代委員会の活躍にどうぞご期待ください！



アクティブ福祉in東京'21の開催について

社会福祉法人 はるび 特別養護老人ホーム はるびの郷

施設長 大久保 佳世

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、私たちの暮らしや生活スタイルは一変しました。今もなお感染拡大の終息は見えず、ご利用者はもとより、職員の生活や仕事にも大きな影響を与えることとなりました。

そのような中、令和2年度は「アクティブ福祉in東京」も中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。

これまで当たり前に行っていたことが出来なくなり、新たな生活様式での対応が求められる「ウィズコロナの時代」において、「アクティブ福祉in東京」実行委員会では、「学びの場」として高齢者福祉施設協議会の中に定着した「アクティブ福祉in東京」を、どのような形で開催出来るかの検討を重ねてきました。検討の結果、令和3年度は、皆様に安全に安心してご参加いただけるよう、Web配信による開催とすることとなりました。

既に発表の募集は始まっていますが、録画方法や配信方法、開催日程等の詳細については改めてご案内させていただきます。

「アクティブ福祉in東京」運営の推進力は、発表される皆様です。実行委員一同、多くの皆様のご応募をお待ちしています。

アクティブ福祉
in 東京 '21

第16回
高齢者福祉実践・研究大会

Active Fukushi



大会イメージ動画 https://www.youtube.com/watch?v=XzDU7Ne_kUk&t=1s



▶ 募集要項などの詳細は東京都高齢者福祉施設協議会ウェブサイトへ！



八王子ブロックの活動について

東京都高齢者福祉施設協議会 八王子ブロック会
会長 **小野 雄介**
(社会福祉法人明徳会 特別養護老人ホーム藤寿苑 施設長)

八王子ブロック会は、八王子市の事業所のみで構成され、ブロック会で唯一、単独の市のみで構成されています。

●八王子施設長会との連携が強み

八王子ブロック会は、八王子施設長会との連携が強く、私自身も八王子施設長会の役員会に参加することによって、二人三脚で活動しています。

昨年度は、新型コロナウイルス対策を共通の目標にして、お互いの役割を分担し、八王子ブロック会は、「新型コロナウイルス感染症発生時の職員相互派遣協定」及び「新型コロナウイルス感染施設への衛生用品セットの提供」について取り組みました。



●昨年度の活動

職員相互派遣協定においては、八王子施設長会役員会を行った際、「養護老人ホームは、八王子市内に5施設しかないため、養護老人ホームだけで職員相互派遣するのは厳しい」との声があったので、八王子市とも協議し、特養28施設と養護5施設の合同で職員派遣協定を締結しています。

また衛生用品セットの提供においては、各施設が利用しやすいよう、施設内に1人でも感染者が発生したら提供するなど柔軟に対応しています。今年度もブロック会活動経費を活用し、衛生用品セットの備蓄を増強する予定です。

今後も1ブロック1施設長会の強みを生かすため、時には連携して、時には役割分担をしながら、活動を行っていく予定です。

専門委員会リレートーク!

東京都高齢者福祉施設協議会内の専門委員会(※)に所属する委員から、委員会の活動内容や、ご自身の法人・施設・事業所でのホットな話題、新しい取り組み、他施設に教えたい情報を伝えるページです。

12回目
災害対策検討
委員会

災害対策検討委員長

神明園 施設長 中村 正人

●介護事業所BCP(業務継続計画)策定義務化への対応を

厚労省から今年4月の介護報酬改定につきBCPの作成とそれに基づいた研修・訓練の実施がすべての介護事業所に義務付けられ、2024年度までは経過措置期間とされたことは既知の通りです。

BCPを策定しておく重要性については説明の必要もないと思いますが、現状において策定をしていない事業所が一定数あること、策定率も業態によりばらつきがあるなどの問題は解決されていません。しかも、昨年からのコロナ禍における対応に追われ、義務化されたとわかっていても、震災や風水害に加え多くの新たな問題を提起することになった感染症対策を含めたBCPの考え方を付加することも、策定から有効な運用を考えることを難しくさせてしまった感は否めません。

●各事業所のBCP策定状況の現状把握から、 策定支援と実践力の向上を支援する

過去、本委員会では会員施設のBCP策定状況調査を行っていますが、先述の問題へ委員会として取り組むため、最新の状況を把握すべく再度調査を行うことを進めています。そこで策定が進まない事業所が抱える問題の解決や、策定したものの状況変化に対応できていないBCPのアップデートなど、既存のBCPに関する研修の在り方の見直しなどを含めて、会員事業所の事業継続の一助になれる委員会活動の方向性を、過日開催の委員会で話し合いました。会員事業所各所からのご提案やご意見を委員会までどうぞお寄せください。

※制度検討委員会、経営検討委員会、施設管理検討委員会、利用者支援検討委員会、人材対策委員会、災害対策検討委員会の6つの委員会の総称。各委員会には都内各地域の高齢者福祉施設より20名前後が委員として集まり、それぞれのテーマに沿った協議や研修会の開催等を行っています。

コロナ禍の養護老人ホーム



▲聖家族ホームHPより抜粋写真

● 聖家族ホーム 施設長
木嶋 大

●令和2年度を振り返って

昨年度は、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった1年でした。厚生労働省は、2020年2月24日付事務連絡で「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について」を発しました。それを受けて、社会福祉施設は様々な感染防止対策に追われました。

聖家族ホームでは、合築されている特養聖ヨゼフ老人ホームとともに、面会制限、ボランティアの受け入れ自粛、クラブ活動の中止、行事の中止等の措置を取りました。

養護老人ホームのご利用者は、元気な方やの軽度の介護認定を受けた方で、外出も可能です。不要不急の外出の自粛をお願いしましたが、現実には完全に順守することは出来ませんでした。

●令和3年度は

今年度も、新型コロナウイルスの脅威は続いています。変異株と呼ばれる強い感染力を持った新型コロナウイルスが発生し、国内でも変異株の感染が増加しています。

4月末には東京都を含む4都県に3度目の緊急事態宣言が出されました。4月末現在、都内の養護老人ホームでは、幸いにもクラスターの発生はありませんが、ご利用者だけでなく職員もストレスを抱えながら働いています。今しばらく辛抱して明るい未来があることを信じたいと思います。

軽費老人ホームにおける 新型コロナウイルス感染症の影 響について

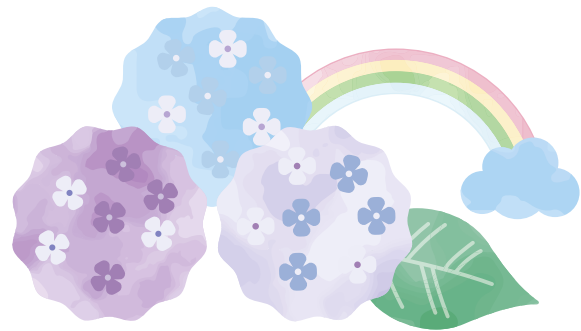
● 社会福祉法人 楽友会 軽費老人ホーム偕楽荘 施設長
鶴岡 哲也

昨年度、新型コロナウイルスは軽費老人ホームにも大きな影響を及ぼし、ご利用者の生活から施設の運営に至るまで様々な課題が生じました。

施設では感染予防のため、職員だけでなくご利用者も手洗いや手指消毒の強化に取り組み、アクリル板の設置など感染拡大防止のための環境面の整備も進みました。一方で、ご利用者への外出自粛要請や施設への出入り制限など、感染拡大防止のためとはいえ非常に心苦しい対応をせざる得ない事例もありました。そうしたことがご利用者の日常生活の不活性化を招かないよう、それぞれの施設では施設内での活動機会の増加や外出に替えてできることなどに工夫を凝らし、ご利用者の心身の健康状態維持に今も努めています。

また、施設運営面においては、オンラインによる会議や研修が急速に広まりました。離れた場所でもリアルタイムで会議ができ、また、リアルタイムではなくとも研修が受講できることは画期的な変化で、こうした取り組みはコロナ禍が過ぎても継続されると思われます。

現在、高齢者施設でのワクチン接種が始まりましたが、まだ新型コロナウイルス感染症が終息した訳ではありません。今後も軽費分科会では引き続き会員施設間での情報交換や課題の把握に取り組み、コロナ過での施設運営や軽費老人ホームの運営課題等に取り組み、東京都所管への要望や意見交換なども実施していく予定です。



～コロナ禍の今だからこそ できる事、そして未来へ!～ 令和2年度支援センター分会からのご報告

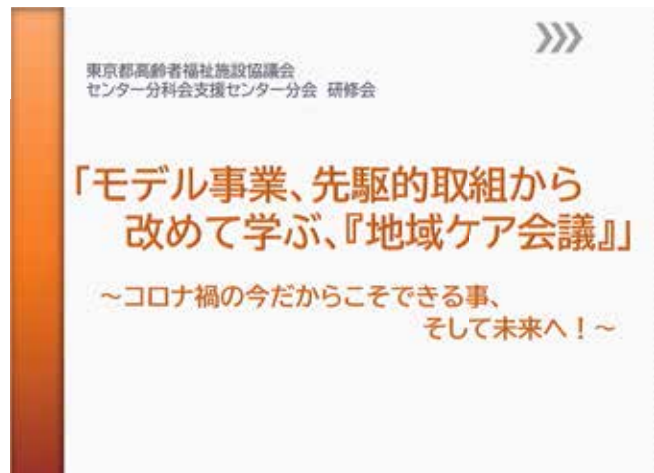
● 府中市地域包括支援センターあさひ苑
清野 哲男

● 支援センターネットワーク委員会

センター分科会支援センター分会支援センターネットワーク委員会では、地域包括支援センター等における、「地域アセスメントの方法と住民の話し合いの場作り」について、その方法・課題等の把握を目的に、これまで調査を実施してきました。その調査の中で、地域ケア会議や協議体の運営、地域展開の苦労や課題解決に悩む声を多数聞きました。

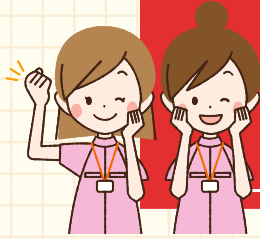
● モデル事業、先駆的取組から改めて学ぶ、「地域ケア会議」

コロナ禍で地域との連携もままならなかった1年間を踏まえ、2019年3月19日（金）に東京都「自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議体制構築支援モデル事業」に取組む2地域（町田市・豊島区）、そして、地域ケア会議・総合事業を活用しつつ地域ケア・地域福祉を展開し全国的



に注目されている山口県防府市からの報告を通じて考えるオンライン開催の研修会を実施いたしました。オンラインによる参加が良かったのか、支援センター、社協、行政関係者140人以上という大盛況の中執り行いました。

出口の見えない今だからこそ、元気を出して知恵を振り絞り、新しいネットワーク作りに取り組んでいける大きなヒントになったと感じています。



東京ケアリーダーズ 活動紹介



介護の魅力を伝える冊子の制作について

ひのでホーム 櫻田 康平

私は昨年度から東京ケアリーダーズに所属させていただく事になりました。

介護の魅力を伝えるべく、福祉関連のイベントを通し学生さんや同業者の方々との交流を楽しみにしていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により福祉関連のイベントは中止。ケアリーダーズの活動も自粛となってしまいました。

「コロナ禍でもできる事はないか」「ケアリーダーズとして何か形に残すことはできないか」と考え、現在私達は「介護の魅力を伝える」をテーマに冊子を作成しています。

メンバー同士で直接会って作成できればいいのですが、コロナ禍という事もあり、慣れないオンラインを通しての作成にメンバー一同苦戦しています。ただそれでも私達の「介護の魅力を伝えたい」という気持ちは変わりません。苦戦しながらもみんなで知恵を振り絞り、徐々にですが完成に向け進んでいっています。

また、今回の冊子を作成するにあたって、現場で働く介護職員にアンケートの協力をさせていただきました。

そのアンケートの中には、現場で働く方々が感じているたくさんの介護の魅力や、心温まるエピソード。介護という仕事に誇りをもっているのがひしひしと伝わってきました。アンケートに答えてくれた多くの方達のためにも、素敵な冊子に仕上げたいと思います！

福祉の仕事就職フォーラムでのセミナー 登壇について

シャローム東久留米 小林 祥子

今回ケアリーダーズとして、これから介護の世界に入ってくる方々に対して介護の魅力について話す機会がありました。コロナの影響により、一年前は中止となり、今回も本来ならば直接話をする予定でしたが事前収録となりました。ネットでの配信となったため、収録を施設で行いました。パワーポイントを用いての話でしたが、直接話すのと収録とは全く違う緊張感がありました。

仕事の合間をぬって作っていった介護の伝えていきたいこと。

いろんな人が働いているからこそ本当に色々な考え方があるなと改めて感じる事ができました。またいつか、直接介護について話せる日が来ることを楽しみに日々を過ごしていこうと思っています。

事務職員研修委員会について

● 事務職員研修委員会委員長

社会福祉法人大三島育徳会 博水の郷 副施設長
 デイサービス博水の郷 管理者

さとう ともみ
佐藤 朋巳

事務職員研修委員会は、都内の各ブロックと養護・軽費分科会の事務職員が中心に構成されています。選出された委員・幹事が研修の企画や運営を行います。また、高齢協の様々なイベントに関わらせて頂いています。

● 委員会活動

年4回の委員会と年2回の研修会を予定しています。少数職種である事務職員が、学びたい内容をテーマにして研修を企画します。昨年度は、「労務管理に関する研修会」と「経営分析」の研修会を開催しました。コロナ禍であり、2つの研修はWEB配信となりましたが多くの方に申し込んで頂き好評を得ました。その他には、「アクティブ福祉 in 東京」や「都民フォーラム」の実行委員と当日係員を選出しています。



● 学びの場・情報交換の場

現在、委員会は5人の委員と12人の幹事で活動しています。コロナ禍になる前は、飯田橋周辺での委員会開催や、委員・幹事の所属施設で見学を含めた会議を行うこともありました。現在は、WEB会議が中心になっています。

研修の企画・運営が主な活動ではありますが、他施設の取り組みを聞き刺激を受けることもありますし、日頃の各施設での困りごとや法改正などについて情報交換を行い施設に有益な情報を持ち帰ることが出来ます。

委員・幹事の募集をしています。ご興味のある方や施設職員さんを派出したいとお考えの施設は是非ご応募ください。

私の心に残るエピソード

家族の思いと安心感

西水元あやめ園 管理栄養士 はしづめ 橋詰 れいこ 令子

A様は肺炎で入院され、治療が終了しました。しかし食事が摂取できずに静脈カテーテルで栄養注入していました。医師からは「この状態で施設に戻るのには難しいので、療養型病棟に移ってはどうか」と提案がありました。ご家族は「寿命が縮むとしても、愛情を持って接して下さるみなさんに母を見て頂きたい」と涙ながらに施設に戻ることを希望されました。

施設にてA様の食事について多職種で話し合った結果、まず栄養補助食品と少量のミキサー食から開始していただくことになりました。

退院当日、馴染みの職員達と対面したA様とご家族はなんだかほっとした表情に見えました。施設に戻ったA様は、翌日から徐々に食欲を見せて下さいました。職員がA様に声を掛け、食事の様子を観察し話し合いを重ねました。1週間後にはミキサー食の量が増えて栄養補助食品が減り、5ヶ月後には普通量の食事を召しあがれるようになり栄養補助食品も必要なくなりました。A様は退院時より体重が2kg増え、顔色も良く今日もご自分で食事を召し上がっています。

ご家族の施設への思いの深さと、生活施設での馴染みの人間関係の安心感の大切さを改めて感じた出来事でした。



編集

後記

今回の専門委員会リレー
トークやトピックスでは、介
護報酬改定に伴うBCPの
策定や、コロナ禍における会

員皆様の施設毎のきめ細やかな対応方
法や工夫などが掲載されています。ま
た、東京ケアリーダーズが「介護の魅力」
を発信し、そして自らの活動内容を伝
えています。介護の魅力を伝えるため
の施設訪問、冊子制作について、就職
フォーラムでの登壇など、毎回の活動に
敬意を表するとともに、広報戦略推進
委員会における高齢協のホームページ
の充実やSNS発信の大切さを改めて
実感しております。

さて、コロナ禍における当施設では、
隣接する保育園と連携し、「入居者様
には、子供たちが遊んでいる姿が見える
と活力になるかも」を旨令として、施
設の裏山を開拓しています。先日、法
内最高齢の入居者様が100歳の誕生日
を迎えました。以前はうつむいて下を
向いていることが多かったのですが、食
堂から見える子供たちの姿に満面の笑
みでお顔をあげてくれることも増えて
います。これも、ちょっとした介護の魅
力の一つですね。

今後とも広報誌アクティブ福祉をよ
ろしく願っています。

社会福祉法人多摩養育園
多摩特養老人ホーム

施設長 内藤 昭彦



- 第3の給食の御提案！ -

マルタマフーズプレミアム調理済商品を活用した食事提供のパッケージの御提案

厨房スタッフの人手不足、高齢化、賃金の高騰や食材費・諸経費の高騰等々・・・給食の運営の難しさが昨今特に増しております。

そのようにお困りの施設の皆様へ、厨房のスタッフの力量や運営形態のご要望に合わせた食事の提供方法のパッケージとしてトータルコーディネートのご提案を行っております。



御予算に応じた運営提案

こだわりの商品と運営サポート

緊急・災害時の高い適応力



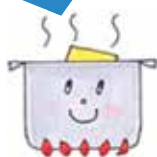
マルタマプレミアム商品の活用 marutama premium

誰でも、簡単に、美味しいお食事が提供できる調理済商品を自社開発し、高齢者福祉施設様を始めとする施設様へ導入させて頂いております。

若い世代～シニア世代まで幅広い世代が楽しく食べられるような商品作りを目指し、食材や味付け、切り方など手作りにこだわった商品の品ぞろえも豊富に揃えています。



湯煎や流水解凍で簡単に出来ます♪



ムース食 『ベースミックス』

ムース食でお悩みはありませんか？



『ベースミックス』で作るムース食は、誰でも、簡単に作れ、無理なくおいしく食べて十分な栄養摂取ができます。ソースのアレンジ次第でメインにも副菜、デザートにも利用できるのが特徴です。

- ・低栄養のサポート
- ・体調不良の方へ
- ・簡単栄養摂取



〒547-0048

大阪の会社ですが、お気軽にお問合せください！

大阪府大阪市平野区平野馬場1丁目17-15

株式会社マルタマフーズ 開発販売室

お問合せ

TEL. 06-6796-1805 担当：三科(ミシナ)

FAX. 06-6796-2400

MAIL mishina@marutama-net.co.jp

※本会事業に協賛いただいた企業の広告を掲載しています。ただし、掲載広告については、情報提供のみを目的としており、本会が推薦等を行うものではありません。